

## 05 研究概要

茨城大学教育学部附属特別支援学校主催

# 令和7年度 公開研究会

February 12, 2026

充実した時間が 熱中する姿が  
子供たちの豊かな未来をつくる。

私たちにできること。

子供たちとできること。

楽しく学びのある『たのまな』の実現



## 研究主題

子供たちの内面や生活を『豊か』にする  
音楽科の授業づくり



茨城大学教育学部  
附属特別支援学校

# 本校の研究の流れ

2016～ アクティブラーニング時代の授業づくり

2020～ 自分らしく未来を生きる力を育む授業づくり

## 2023～ 子供たちの内面を『豊か』にする音楽・図画工作/ 美術・体育/保健体育の授業づくり

自分らしく  
未来を生きる、  
豊かに生きるために、  
音・美・体から  
始めよう。

- ・刻々と変わる予測が難しい社会で、自分らしく、豊かに生きるため  
どんな学びを提供できるかを考え令和5年度から教育課程を更新。
- ・音楽・図画工作/美術・体育/保健体育を重視した教育課程に合わせた研究をスタート。

・自分の「思い」を純粹に直感的に表現できる音・美・体ならば、  
内面の変化を捉えやすい。

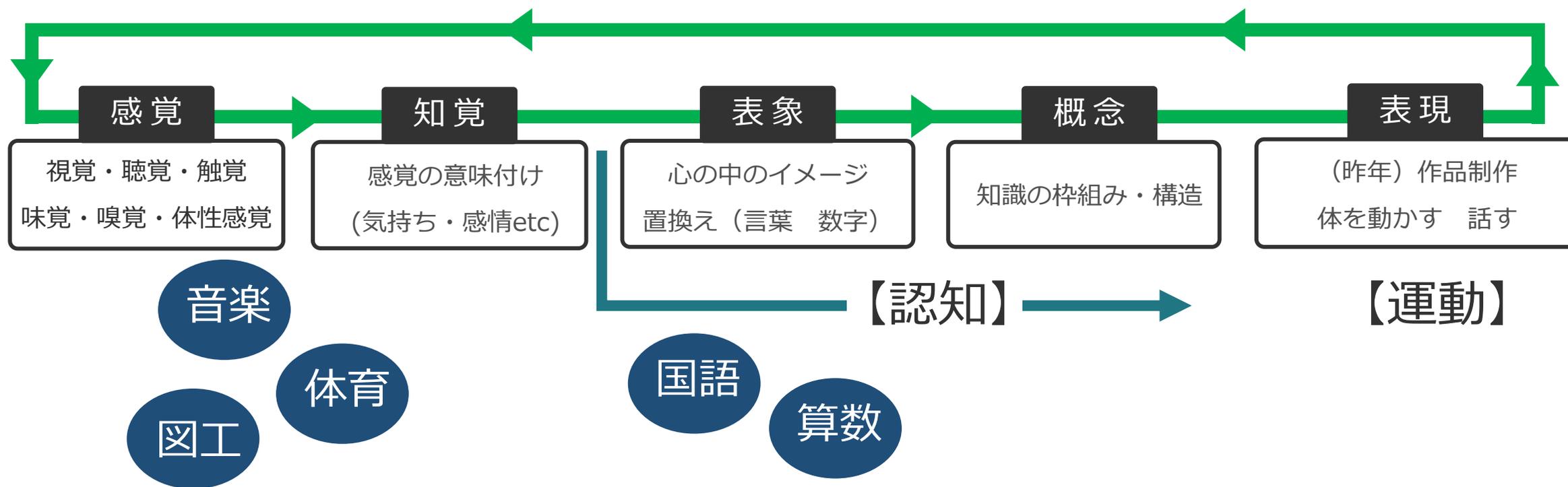
・音・美・体は「生涯学習」という視点からも重要な教科。  
それらを充実させることは、子供の内面や生活の充実を図ることにつながる。

・音・美・体での経験が、自己形成や自己実現に寄与する。

仮説

# Q 音・美・体 の特徴は？

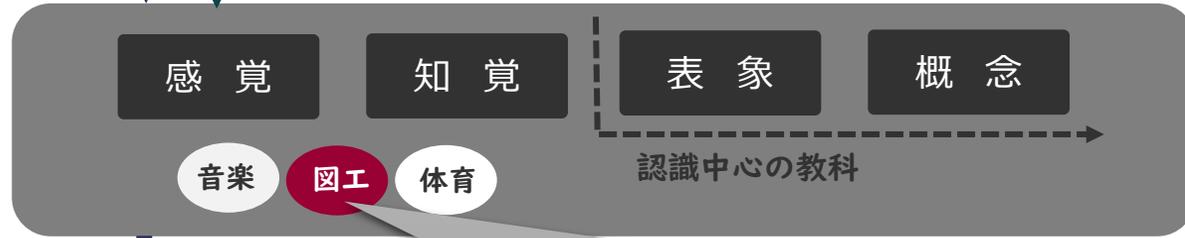
A 「認知」よりも前の段階にアプローチをすることが可能



自分の思いをより純粹に、直感的に表現できる ➡ 内面の変化を捉えやすい

# 1年目の図画工作はどう考えたの？

「やってみたい」楽しい環境を整える



感覚・知覚へアプローチ

「やってみたい！」  
環境設定 (場所×素材)

屋外

土・草木

広い場所

粘土

素材と関わり  
自由に遊ぶ

楽しみ尽くして  
残ったもの・場  
が作品

紹介映像

表現

- ・作品の完成ではなく、制作過程にフォーカス。
- ・児童が自分からやりたいことをする。自由度の高い活動 ➡ 意欲up
- ・児童がやりたい感覚刺激の遊びを通して、感覚・知覚の段階にアプローチ
- ・感覚・知覚の段階の経験が、その後の認知(表象等)の段階に効いてくる可能性。

# 2年目の体育/保健体育はどう考えたの？

やってみたい！楽しい環境を体育で作る



【目指した授業】

夢中になる教材・内容  
特別支援学校としての安全配慮  
学習記録や内面の変化の可視化  
「体育」としてのポイント

知識の枠組みを形成



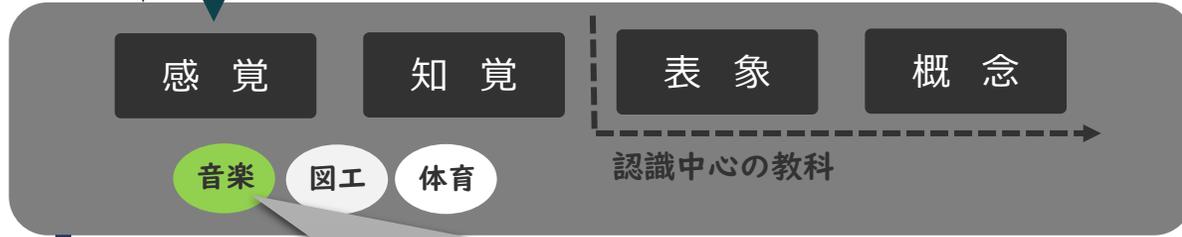
(体育科の見方・考え方)

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に…

- ・図工・美術との共通点は、魅力的な題材⇒やってみたい！ 夢中になっちゃう
- ・一生運動を楽しめる人の育成を目指す。「運動しようよ」⇒「いいね！」⇒楽しい！くやしい！…またやりたい！
- ・運動を好きになるように、運動に対する良いイメージの形成を促す⇒知覚（運動＝楽しい！好き！）に作用する。

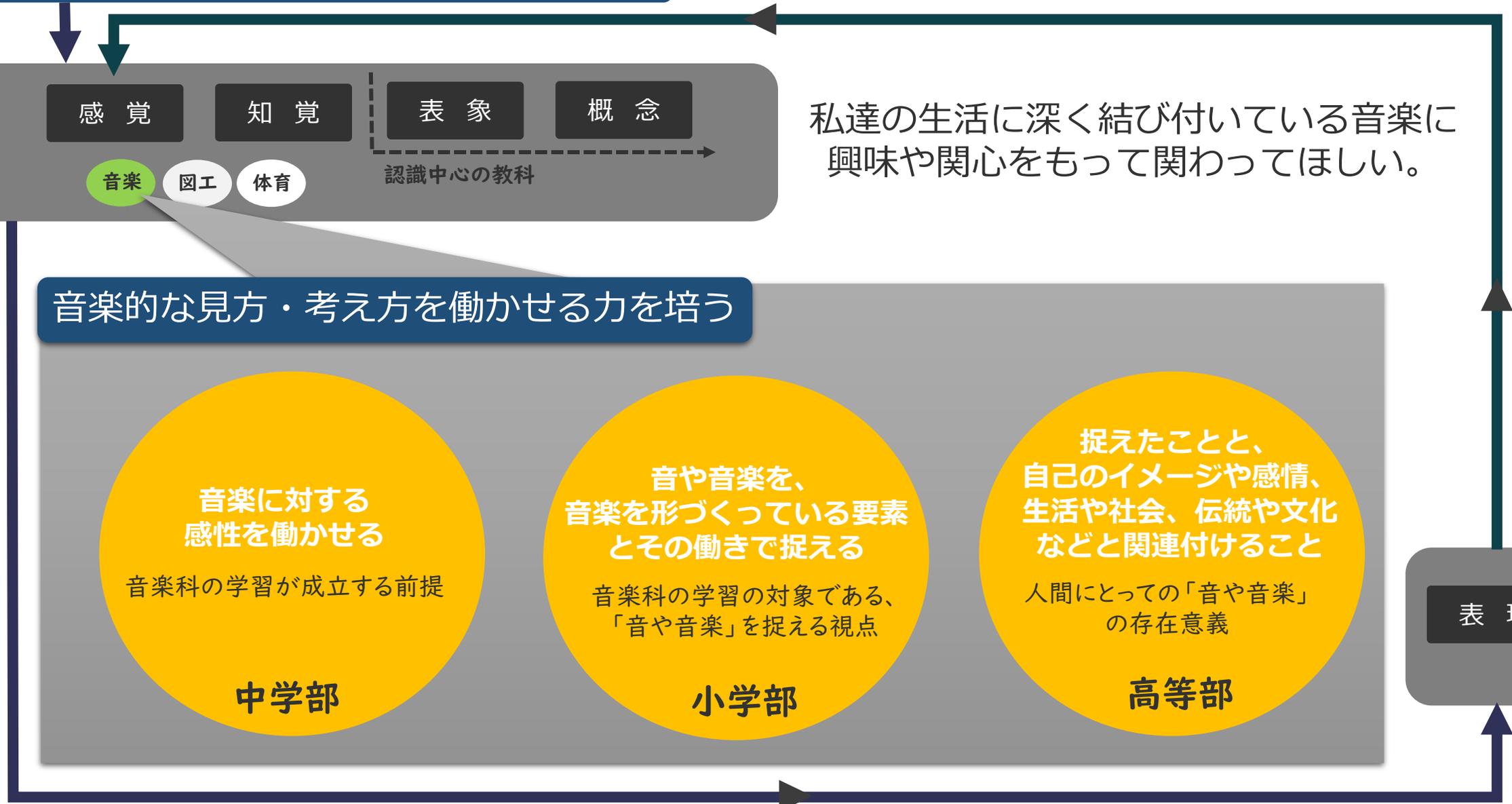
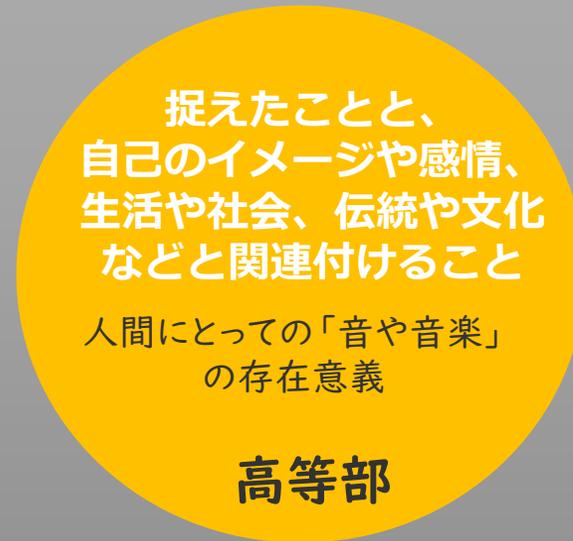
# 3年目の音楽の取り組みは？

心地いい！やってみたい！楽しい環境を音楽で作る



私たちの生活に深く結び付いている音楽に興味や関心をもって関わってほしい。

音楽的な見方・考え方を働かせる力を培う





# 児童生徒の学習記録や内面の変化を可視化 → 授業や支援の改善へ

単元目標×個別目標×児童の記録(実態として活用)  
 本研究では児童の実態および学習を進めていく際の記録として活用。

題材名	探せ！音楽の秘宝 - 歌唱 -		本題材で扱う主な音楽を形づけている要素	旋律	リズム	
題材目標	知識及び技能 ・リズムや旋律を意識することができる。 ・教師や友達の歌声を聴いて、声を合わせて歌うことができる。	思考力、判断力、表現力等 ・好きな歌やなじみのある歌、旋律の一部を歌いたいという思いをもつことができる。 ・歌唱表現の知識や技能を生かし、工夫して歌ったり発声したりすることができる。		学びに向かう力、人間性等 ・教師や友達と一緒に音や音楽に関わり、音楽活動を楽しんでいる。		

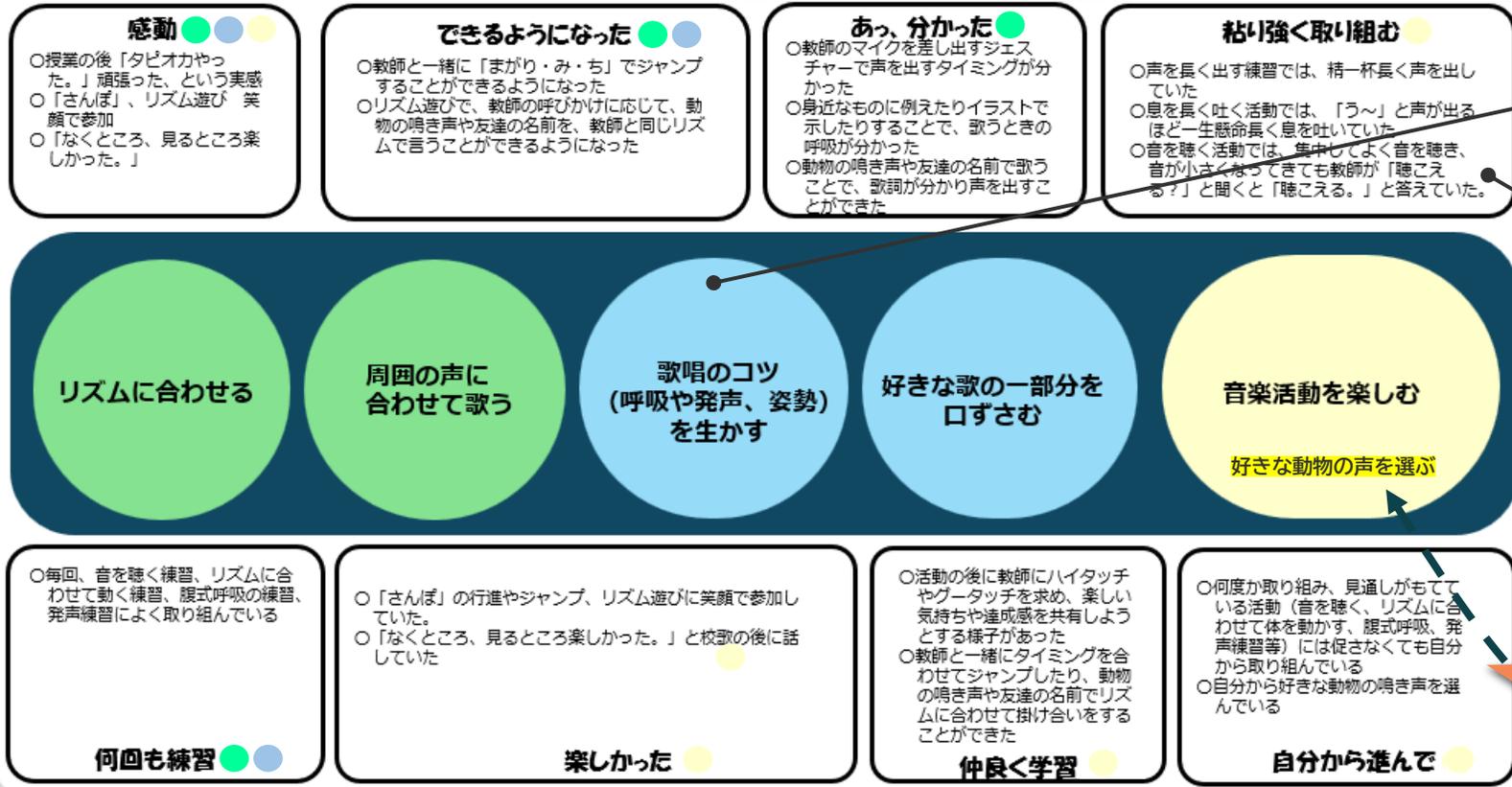
この題材で学んでほしい要素

## 題材目標

学習指導要領を基に、学習する集団全員に共通する目標を記述。知識及び技能/思考力・判断力・表現力/学びに向かう力・人間性の3観点。

## 児童(A ピブス番号7)の学習の様子

題材目標からとった個別の目標となるキーワードが中央、本校で大切にしたい観点が周囲



## 個別の題材目標

学習する集団全員に共通する題材目標から、個別の目標をキーワードで設定。

## 児童生徒を見取る視点

この視点で児童の様子を振り返る。エピソード記録形式で記入。児童の活動記録として用いることが可能。

- 何度か取り組み、見通しがもてている活動(音を聴く、リズムに合わせて体を動かす、腹式呼吸、発声練習等)には促さなくても自分から取り組んでいる。
- 自分から好きな動物の鳴き声を選んで

自分から進んで

# 指導案について

題材名	ミュージッククエスト 音楽の秘宝を求めて -歌唱-
本題材で扱う主な音楽を形づくっている要素	リズム 旋律

小学部高ブロック(4~6年)音楽科 学習指導案

日時:2月12日(木)10時30分~11時15分

場所:小学部プレイルーム2

題材設定の理由	<p>○本グループは、小学部4年生3名、5年生3名、6年生3名の計9名で構成されている。授業内容によっては障害特性や興味関心の偏りから、活動の見通しがもてずに参加が困難となる児童も見られるが、小学部の「年長者」グループとして、落ち着いた授業へ向かう姿勢が形成されてきている。</p> <p>○音楽科の実態としては、総じて音楽の授業を楽しみにしている児童が多く、とりわけ歌うことに意欲的に取り組める。学習指導要領における、2~3段階を目標とする実態の児童が混在している。歌唱の授業では音程など旋律に関わること、リズムによって発声すること、歌詞の内容を踏まえどう歌うのが良いか考えさせたい児童がいる。しかし普段歌う時は、それらを意識することは十分にできていない。そこでこのような実態の児童に対し、それぞれの段階に合わせて意識するポイントを踏まえて歌うことで、素敵に歌うことを実感できるようにしたい。また、教師の支援が比較的に少なくても授業に向かうことができるようになってきていることから、友達と協働しながら児童が主体となって楽しみながら表現する力を育てたい。</p> <p>○本題材は歌唱の領域を扱うが、授業を児童の興味・関心を高めるために、「冒険」という文脈の中で学習を進めることとした。児童は「音楽の秘宝」を手に入れるために旅をして、歌唱の課題曲をモチーフにした洞窟や遺跡を訪れる。「冒険を進める中で、様々なイベント(音楽を形づくっている要素に触れる活動)を経て、授業の最後にその時間の課題曲を歌う。イベントで学んだ音楽を形づくっている要素を踏まえて歌うことで、素敵に歌うことができたという意識付けや、授業を通してどんなことを学んだのかを振り返るヒントになるように、集めると音楽の秘宝になると言われる「素敵な音楽のかげら」というものを設定し、それを手に入れるという流れの授業とした。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

本時の目標	<p>【対象児:O ビブス番号】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教師の模倣をして、録音や友達と一緒に発声することができる。(知・技)</li> <li>○歌唱の楽曲の中で、自分の好む一部分を歌うことができる。(思・判・表)</li> <li>○教師と一緒に楽しく音楽活動をしようとしている。(学・人)</li> </ul> <p>【対象児:K ビブス番号】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○楽曲のリズムを体で表現しながら歌うことができる。(知・技)</li> <li>○リズムを感じながら、どのように歌いたいのかを想像しながら歌うことができる。(思・判・表)</li> <li>○友達と一緒に楽しく音楽活動をしようとしている。(学・人)</li> </ul>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

時間	活動	支援
10:30 (4)	<p>1 本時の学習内容・活動</p> <p>(1) 始めの挨拶</p> <p>(2) 本時の学習内容</p> <p>音楽のかげらを求め、本日やってきたのは「チャチャチャの遺跡」。無事にお宝を手に入れることはできるのか!</p> <p>・リズム、旋律が合っていない教師のバッドモデル歌唱を聞き、ポイント(リズム、旋律)を確認する。</p>	<p>・ストーリー仕立てにし、活動に取り組む理由を作ることで、児童の動機付けを強めることができるようにする。</p> <p>・教師のリズムや旋律が合っていないバッドモデルを提示し、意識するべきポイントが分かるようにする。</p>
10:34 (7)	<p>2 入口の試練!よく聞こう!(旋律)</p> <p>○周りの音をよく聞く。</p> <p>・アイマスクで視覚を制限し、より音(聴覚)に注意を向けることができるようにする。</p>	<p>・アイマスクで視覚を制限し、より音(聴覚)に注意を向けることができるようにする。</p>

【音楽の授業づくりの視点】

○体で感じて 体で表す。  
小学部に在籍する様々な発達段階の児童が、自分なりに音や音楽を感じて表現することを目指して設定した。

○「歌唱」の領域に絞った授業を行う。  
授業内容を一つの領域に絞り、音楽を形づくっている要素の視点で活動を構成することで、一つの領域の内容を深く掘り下げた学習を行うことができると考えた。また、領域が絞られたことで、評価をしやすいという利点もある。

○音楽に対する感性を育むため、音楽を形づくっている要素から「リズム」「旋律」を意識した授業を設定した。

【特別支援】

○授業で扱う課題曲は変化するが、授業の構成と活動に関しては一貫した流れになるようにすることで、児童が見通しをもって授業に参加できるようにする。

○冒険をして授業の最後に課題曲を歌い、音楽のかげらという秘宝を手に入れるストーリーにすることで、学びの必然性が出るようにする。

○バッドモデルの提示  
歌う際のポイントを意識させ、授業の最後に上手に歌えた、素敵に歌えたという実感をもつことができるようにするために、授業の始めに行う。高ブロック児童の普段の様子から、バッドモデルと授業最後の歌唱を比較して満足感が得られると判断したため実施する。

## 音楽を形づくっている要素の記載

「音楽科」として、本題材で学んでほしい「音楽を形づくっている要素」を示す。授業者は、活動中にこの要素を意識して支援する。

## 補足表記

「音楽科として」留意した点や、特別支援学校の授業として、発達段階を考えて工夫した点を補足として記載した。

## 研究対象として設定した児童のビブス番号を記載

## 中・高等学部展示にて一緒にお話しさせていただきたいこと

### Q 音楽に対する感性を働かせる姿とは？

感性を働かせる姿と聞いて、どんなイメージをもつでしょうか？

### Q 高等部卒業後の音や音楽との関わり方を踏まえ、在学中に私たち教師ができることは何か

# 小学部協議で一緒にお話しさせていただきたいこと

**Q 児童の障害や、それに伴う特性を踏まえることと、音楽科としての教科を指導することの両輪を大切にする授業とは？**

教材 場の設定 内容 準備 発達段階・・・様々な要因があると思います。

まだまだ授業に向かう意識が充分ではない段階において、

どう授業へ引き付けるのか 音楽科の授業として大切にすべき点は何か

**Q 音楽の授業における児童の内面をどう捉えるか？**

本研究で用いている「増えていく」実態・記録シートはどうか？